

尼子騷兵衛漫画ギャラリー第4回企画展

『らくご長屋』と『落第忍者乱太郎』原画展



尼子騷兵衛 ギャグと古典熱



★尼子騷兵衛漫画ギャラリー

2025年12月6日(土)～2026年4月5日(日)

開館時間:午前10時～午後5時

(土・日曜・祝日は午後6時まで)

休館日:毎週火曜日、12月31日

入場料 高校生以上 200 円、中学生以下無料

障害者手帳をお持ちの方は半額、介護者 1 人無料

主催:一般社団法人あまがさき観光局 協力:尼子事務所

尼子騷兵衛漫画ギャラリー 第4回企画展

『らくご長屋』と『落第忍者乱太郎』原画展

尼子騷兵衛 ギャグと古典落語

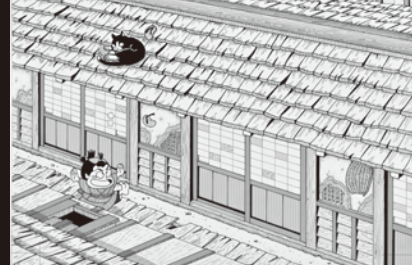
2025年12月6日(土)～2026年4月5日(日)

開館時間:午前10時～午後5時

(土・日曜・祝日は午後6時まで)

休館日:毎週火曜日、12月31日

入場料 高校生以上 200 円、中学生以下無料
障害者手帳をお持ちの方は半額、介護者 1 人無料



「らくご長屋」や「落第忍者乱太郎」のギャグシーン、ユニークな名前のキャラクターの原画を展示します

尼子騷兵衛の作品『落第忍者乱太郎』は、忍術学園で学ぶ忍者のたまご“忍たま”たちをはじめ、個性豊かなキャラクターたちが繰り広げる、にぎやかで愉快的なドタバタ劇が魅力のギャグ漫画です。子どものころから人を笑わせることが大好きだった尼子にとって、漫画は「面白いことを伝えるための手段」でした。実は、『落第忍者乱太郎』が誕生する前からギャグ漫画を描き続けており、雑誌への投稿も行ったりしていましたが、一貫して「古典落語や松竹新喜劇のように何度見てもおかしい」を追求してきました。

また、2004年から2007年にかけて出版された『らくご長屋』(文 岡本和明、ポプラ社・全10巻)では、テーマごとに有名な古典落語を簡潔にまとめた作品に挿絵を担当し、その世界観を豊かに彩りました。また、時代考証を大切にしている尼子は、乱太郎たちが生きる室町時代とは異なる江戸時代の風俗についても丁寧に調べ、表現しています。

本展では、『らくご長屋』に掲載された古典落語の世界を挿絵原画から紹介します。さらに、ギャグ漫画としての『落第忍者乱太郎』に焦点をあて、キャラクターの魅力やセリフ・言葉遊びなど、笑いのエッセンスが詰まった場面も原画でご紹介します。尼子騷兵衛のギャグセンスの源泉、ページをめくるたび何度でもくすくと笑える。そんな魅力をぜひお楽しみください。

関連イベント

「落語とトーク」

日時:2026年3月21日(土)午後2時から

会場:尼崎市開明庁舎2F AMA-NEST

入場料 500円 先着:60人



桂團治郎さん

桂團治郎さんによる落語と桂團治郎さんの尼子騷兵衛さんお二人によるトークイベントを開催します。

チケットは2月1日(日)午前10時から、発売開始。右の2次元バーコードからお申し込みください。

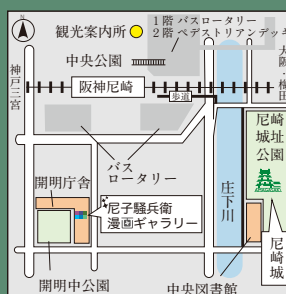


尼子騷兵衛さん



★尼子騷兵衛漫画ギャラリー

(尼崎市開明町 2-1-1 開明庁舎 1 階)



〈アクセス〉

電車

▷阪神尼崎駅下車、南へ徒歩3分

バス

▷JR 尼崎駅(南) から阪神バス 23 番、JR 尼崎駅(北)から阪神バス 11 番。いずれも「阪神尼崎」行き

▷阪急「塚口」駅から阪神バス 13 番が阪急バス「阪神尼崎」行き

〈Supporter (50 音順)〉

尼崎信用金庫

東急不動産 SC マネジメント株式会社あまがさきキューズモール株式会社ベイ・コミュニケーションズ

丸一興業株式会社

〈お問い合わせ〉 一般社団法人 あまがさき観光局 文化観光推進担当

電話 06-6409-4946 FAX06-6417-5146

メール ama.bunkakankou@gmail.com